

関係のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 学校防災教育推進部長 古俣和博

## 新潟市放課後児童クラブの支援員を対象に研修会を実施

10月26日(水)新潟市社会福祉協議会地域福祉課が主催した放課後児童クラブの支援員を対象とした防災研修会で主題「どう守る - 命 - 」副題「自分の命は自分で守る・こどもの命をどう守る」と題し研修会を実施しました。

### 概要

日時:令和 4 年 10 月 26 日(日) 9 時 30 分~11 時 00 分

会場:新潟市の放課後児童クラブ

実施者:日本防災士会・新潟県支部 学校防災教育推進部長 古俣和博

参加者:32名

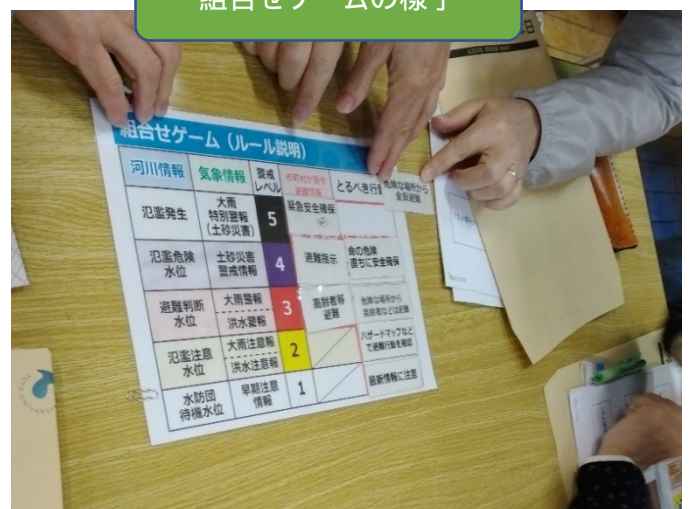
### 研修会の内容

地域の過去の災害や想定リスク、ハザードマップの見方、災害情報組合せゲームほか東日本大震災から学ぶ「大規模災害時の児童の引き渡し」についての提言

研修会の様子



組合せゲームの様子



### 【参加者：成果・感想等】

- ・ハザードマップの見方が分かって勉強になった。家に帰って家族ともう一度見直そうと思った。
- ・日常の中に災害はすぐ近くにあると感じました。クラブの立地をよく知ることから始めようと思います。
- ・身近な場所の説明でとても分かりやすかった。常に危機意識を持つことが大切。再認識できた。
- ・受講して改めて災害の恐怖を感じました。早速今日家でハザードマップを確認します。
- ・防災に関しては、普段から意識はしていたつもりだが、今日の研修を受けてみてまだやるべきことが沢山あると再確認した。今日の資料をしまうことなく、職場・家庭において活用し防災意識を高めたい。
- ・避難訓練の見直しが必要だと感じた。日々、起こりうることを想定し職員間でも深く話し合っていきたいです。
- ・様々な経験からのお話、とてもためになりました。もし起きたらを考えその時最善を尽くせるようにしたい。
- ・大変ためになる研修でした。他人事の意識を捨て、日々意識して生活していきたいと思います。